

みはら情景 わがしの思い出

鉄道高架



三原東城線にあった土手町踏切(昭和56年)



信号が交通の秩序を守っている、現在のようす

街のにぎわいが交わる踏切



佐々木 政行さん
(東町三丁目)

「19歳で当時の国鉄に就職し、県内外9か所に赴任しました」

JR三原駅から発着を繰り返す、山陽本線と呉線。平成3年に高架の工事が行われて以来、現在のように道路より高いところを走るようになりました。それ以前は、道路と線路が交わる要所に踏切があり、南北を行き来する多くの人々に利用されてきました。
駅の両側の、東第一踏切と館町踏切は、特に交通量が多い踏切でした。「本町の商店街から、帝人通りにかけて、徒歩や自転車で行く人々が、通称大踏切と呼ばれていた館町踏切を行き来していました」と語るのは、現在78歳になる佐々木政行さん。「私が若い頃は、映画を見に行くのが大きな娯楽でした。本町や港町にあった映画館に行くため、よく館町踏切を利用していました」と思い出を語ります。
交通量の多い踏切には、警報機に加えて、交通保安係がいて、人の目によっても安全が守られていました。また港町にあった土手町踏切のように手動式で遮断機を下ろしていた踏切もありました。
現在は、自転車をよく利用するという佐々木さん。「線路が高架になって、待つことがなくなり、とても便利になりました。また歩道が多くなったので、安全面でもよくなったと思います。マナーを守ってより安全な街にしたいですね」と語ってくれました。

生涯学習フェスティバルへの出展募集

とき 10月28日(土)・29日

(日) 10時~15時30分

ところ リージョンプラザ、市民ギャラリー、中央公民館、本郷生涯学習センター、大和文化センターなど

内容 生涯学習に関する講演、展示、発表、バザーなど

申し込み・問い合わせ 14日(月)までに申込書(中央公民館、本郷生涯学習センター、大和文化センターに用意)に記入し、中央公民館(☎0848-2137)☎0848-0137、または各センターへ

税の納期



市県民税普通徴収(第2期)

国民健康保険税(第2期)

介護保険料普通徴収(第2期)

納期限 8月31日(木)

税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あとがき

先日、夏の高等学校野球選手権の取材に行ってきました。開始式の、緊張しながらも堂々とした入場行進、試合ではきびきびと元氣よくプレーする姿を目の当たりにしました。また観客席から送られる声援も、印象的でした。強い日差しにもかかわらず、みんなが目標にむかって、一生懸命になる姿にとても感動しました。さて、三原の夏といえば三原やっさ祭り。今月号では、やっさ踊りや花火フェスタ、その他にも多くのイベントを紹介しています。皆さんも暑さに負けず、いろいろなおイベントに出かけてみてはどうですか？感動が待っているかもしれません。(あ)



● 三原市の人口 ●	
(6月30日現在)	
世帯数	43,252世帯(+505)
人口	105,338人(-389)
男	50,509人(-90)
女	54,829人(-299)
()内は前年同月との比較	

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。